

目標達成計画

作成日: 平成 25年 2月 22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランが画一的なものになり、様々な角度から利用者を見つめ、支援していくという視点に立てなく、広く関係者からの意見を求めるという計画になっていない。	月に一度のケア会議が、モニタリング及び、ケアプランの見直しになっているが、家族などの意見を徴し、ご家族の思いもプランに載せ、利用者と一緒に目標を掲げていく。	ご家族の中では、ホームに足が遠のいている方もいるので、最低でも月に一回の訪問をお願いしてご家族で話し合う場を提供して、本人のできることを見て戴き、具体的な目標にご家族の声が反映するようにする。	6ヶ月
2	35	食料の備蓄が、2日分程度しか用意がない。	食料備蓄を5日分とする。	日中の電気は、太陽光電で作ることができる。夜間と、曇天時にも対応するため、灯油の備蓄も行う。また、インスタント食品、缶詰等の災害用の食料を、5日分貯蔵するようにする。	3ヶ月
3	37	日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけているが、笑顔が見られない利用者もいる	穏やかで笑顔の表情を目標に掲げ、ほほえみのある暮らしを目指していく。	利用者個々の趣味や、今までの経験などから、何が楽しいのか、興味があるのかを把握し、できる範囲で実現できるように支援する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。